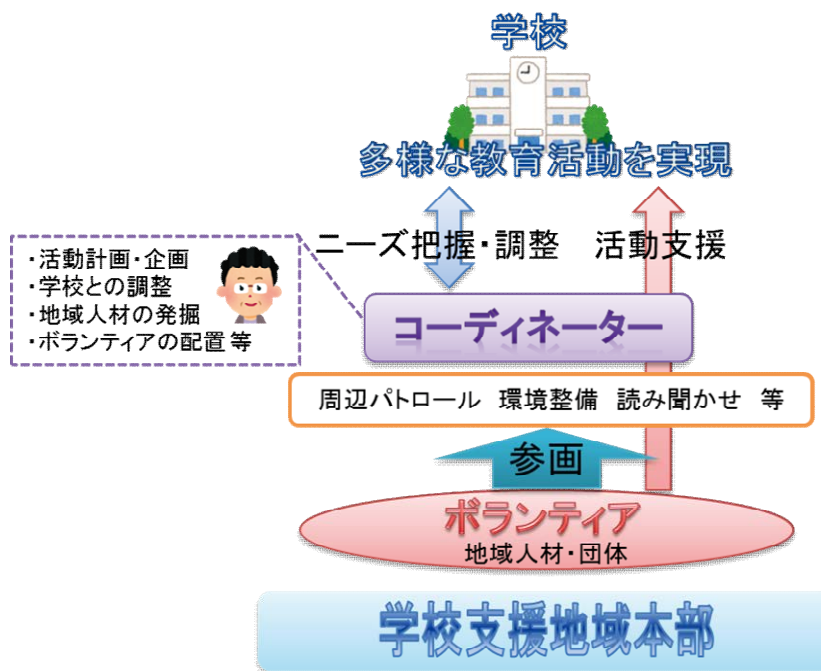


◆事業方針（計画等における位置付け）

江東区では「江東区長期計画」において、平成31年度までに小・中学校全校（小学校45校、中学校23校、義務教育学校1校）に学校支援地域本部を設置することを目標に取り組み、平成29年度現在、小学校28校、中学校15校の計43校で実施している。

地域ごとの特徴に合わせた活動を計画的に展開するため、具体的な実施計画を立てるよう学校へ助言するとともに、事業担当者が定期的に実施校及び新規で立ち上げた学校に訪問し、事業目的や体制作り、予算の執行について説明を行っている。

◆地域学校協働活動（学校支援活動を含む）の実施体制（特徴・工夫等を含む）



◆運営委員会

（12月中旬）次年度の実施予定校向けに説明会を実施。

（3月中旬）運営委員会の開催。年間報告と今後の展望の共有及びコーディネーター同士の交流を図る。

◆広報活動（パンフレット、HP活用、広報誌、報告書など）

江東区教育委員会が発行している「こうとうの教育」1月号に学校支援地域本部についての記事を掲載し、本取組について区民への理解・周知を図る予定である。

なお、「こうとうの教育」は、江東区ホームページからも閲覧が可能となっている。

◆コーディネーターの育成・交流の機会提供や学校に対する事業理解促進

- ・都によるコーディネーター研修や、コーディネーターフォーラムへの参加を促す。
- ・区の運営委員会を通し、実施校と、次年度の新規実施校を対象に他校での取組を参考にする機会の場を設けている。

◆成果（平成28年度実績・30校）

- ・学校支援ボランティア参加者数（延べ）：12,498人
- ・年間を通じた本部の活動日数（延べ）：3,008日

◆課題・展望

- ・実施校の関係者同士のつながりを持つため、情報共有の場を設定する（29年度から実施予定）。
- ・事務マニュアルを作成し、新規設置校の執行手続き等の負担を軽減するよう努める。